

休職者訓練(職場復帰のための職業訓練)をご利用いただいた皆様の声



復職に直接繋がるオーダーメイドの訓練で
業務に役立つ技能を獲得してもらうことができました。

八頭中央森林組合 総務課
森本 新一 氏

Q. 事業所として休職者訓練を利用しようと思ったきっかけは？

当人が受傷後、復職に向けてリハビリを受けていた病院から、吉備職リハセンターの休職者訓練について紹介を受けたのがきっかけです。センターの見学後、当人・ご家族と相談し、事業所としても当人が復職して新たな業務に就くためには、休職者訓練が必要であると判断して利用を決めました。

Q. 訓練を利用して事業所として良かったと思うことは？

当人は約20年間林業の現場業務に携わっておりましたが、当人の復職にあたって、事業所としては事務業務への転換を考えており、その可能性を模索する中で休職者訓練を利用させていただくこととしました。訓練では、パソコン操作の基礎から、復職後を想定した模擬環境による実践的な訓練、本人の特性に合わせた仕事への取り組み方のノウハウ等々、復職に直接繋がる内容をオーダーメイドで実施していただき、業務に役立つ技能を獲得してもらうことができました。

また、事業所側へ訓練の進捗状況や習熟状況等の情報を提供していただいたこと、更に、全職員を対象とした「障害への理解を深める研修」等を実施いただいたことが事業所側にとっても復職時の受け入れ準備に大いに役立ちました。

当森林組合では、安全衛生の推進及びリスクアセスメントの実施はもとより、被災した職員の雇用継続にも注力し、安心安全な職場づくりに取り組んでおります。今般の訓練は、その取組みにおいて大いに効果があったものと感じています。

自分の仕事が職場の役に立っていると
思っています。

谷口 正樹 氏 (高次脳機能障害)

訓練を受講する前は、寮での生活がきちんとできるか、訓練が続けられるか不安がありましたが、職員の方達が親身になってくれたおかげで頑張れました。

訓練中は新型コロナウィルスの影響でうまく訓練が進まないこともありましたが、今まで知らなかった、仕事でのパソコンの使い方を身に付けることができ、今では自分の仕事の成果が、職場の役に立っているとと思っています。



職場復帰後の職務を想定した訓練

休職者訓練は、対象者の方が職場復帰された後に担当される職務について事業主様から聞き取り、その内容に基づき、当センターにて職場環境を模擬的に構築し、訓練を行うことで、復帰後に当該職務をスムーズに担当できることを主たる目的として実施されます。

八頭中央森林組合 様の場合

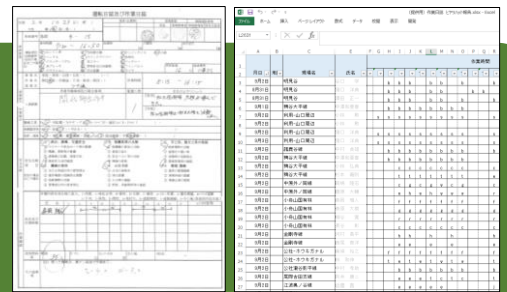
対象者の復帰後の担当職務：

日次で各現場から提出される「運転日誌および作業日誌」から、各作業者の作業内容および作業時間帯を既定の集計ファイルに入力するほか、現場で生じた「ヒヤリハット」について記載がある場合は、別途、ヒヤリハット記録用のファイルに入力し当該データの蓄積を行います。

職場復帰後の職務を想定した訓練の流れ

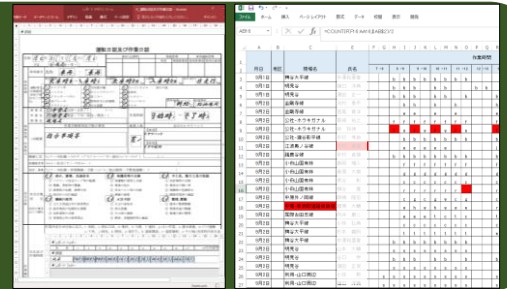
STEP 1

事業所より、「運転日誌および作業日誌」のサンプル（実際の帳票の写し）、当該作業における過去データ（抜粋）および入力用ファイルの提供受け。



STEP 2

提供された情報を基に、当センターにて訓練用の模擬日誌データおよび模擬日誌を生成。併せて既定の入力用ファイルをベースに、対象者の作業後に入力値と正解値の照合機能を追加した入力訓練用ファイルを作成。



STEP 3

構築した環境において当該作業に係る反復訓練を実施。作業結果の正誤、エラー状況、所要時間等については日次ベースで記録。またエラーについては、対象者の障害状況等に起因する可能性を踏まえ、再発防止のための対策を考案し、次回以降の作業で反映できるよう援助。



STEP 4

作業記録を基に、当該作業の遂行状況の推移、効果が認められたエラー防止対策、作業する上で必要となる対象者への配慮等について、事業主様あてレポートとして取りまとめ、事業所を訪問し、対象者同席のもと説明。



事業所側に対象者の職務環境等について整備いただいたのちに職場復帰